

1. はじめに

昨年の日本の出生数は過去最低であり、今後長期に渡る少子化は避けられない。そこで、明るい少子高齢化社会を目指し、女性が安心して子どもを産んで育てられる環境づくりに役立つツール「縁（ゆかり）」を提案する。

「縁」は、従来の母子手帳を Android スマートフォンやウェブ上で、完全電子化するだけでなく、電子化することによるメリットを最大限に生かし、子育てを家族みんなでサポートできる機能を搭載する。

2. システム概要

「縁」は母子手帳のすべての項目を電子媒体で閲覧、記録することができる。記録されたデータはクラウドに保存され、認証された端末で参照可能であり、母親だけでなく父親や祖父母も、子育ての状況をリアルタイムで知ることが可能にするなど、父親などの積極的な育児参加を促すことができる。

クラウドへの保存は、セキュリティが確立されている GoogleDrive を利用し、家族で共通の Google アカウントを利用しデータを共有するほか、病院などインターネット環境が制限される場合は、データをクラウドに保存せず、オフラインでの利用も可能である(図 1)。また母子手帳を電子化することで実現可能となる図 2 の機能により、母親だけに偏ることなく家族みんなで子育てをサポートできるようにする。

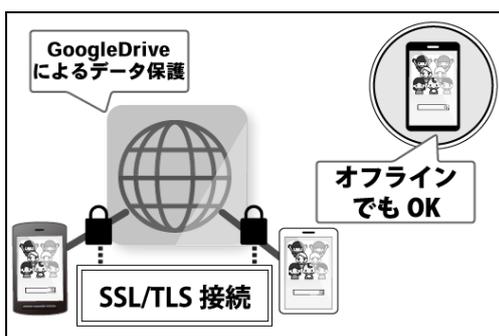


図 1 共有機能

20 **スケジュール通知機能**
予防接種の記録や日々の予定などを記録し共有

アルバム機能
写真や動画の記録と共有

質問機能
質問サイトへの投稿

ダイアリー機能
写真や動画の記録と共有

図 2 各種機能

3. ビジネスモデル

「縁」の改良を進め、安定してユーザーに提供するためにビジネスモデルを検討している。「縁」のソフトウェア代金は無償とし、ユーザー数を確保した上で、写真印刷や医療専門家団体へのオンライン相談機能を提供する業者との提携などにより、収益化を目指す(図 3)。

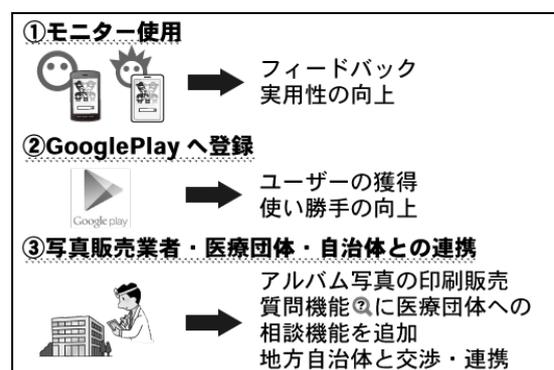


図 3 ビジネスモデルのステップ

4. まとめ

「縁」は従来の母子手帳を完全電子化し、電子化ならではの機能を追加することで、母親だけでなく家族みんなの子育てをサポートする。ビジネスモデルを検討し、幅広く利用してもらうことで、実用性や完成度の向上を図り、実用化を目指す。